







# 中国に力を入れる

## 道路整備の現状



（写真左から）楊盛福・交通部公路局長、芦希齡・交通部計画統計局長、丁志成・交通部外事局副局長、高嶺友一・交通部計画統計局副局長、唐希齡・通訳、沈肇圻・交通部外事局副局長

### 実務者会議 実務者会議

（於：中国交通部会議室）

#### 着々と進む中 国の道路整備

芦 声 まず、中国の道路整備の現状についてお話をします。

現在、整備中の第一の道路は、北京から天津、塘沽に至る高速道路です。次いで、高速道路ではありませんが、一九九〇年までに、北京から瀋陽まで二級道路と二級道路を段階的に建設する計画があります。これは、北京から秦皇島までが二級道路です。

秦皇島は中国最大の石炭積出港で、日本からの円借款でつくりたものです。既に、年間取扱量四千万吨の能力をもっており、さらに三千万吨の能力を追加を目指しています。

中国では、旅客、貨物輸送と

車両の通り、東北

車両の通り、東北</



# 「第5の力」に注目

## 理論が先で証拠まだ

「第五の力」の真偽をめぐる議論が高まってきた。理論的には存在してもおかしくないといされているが、現在「証拠」を求める多種多様な実験が行われている。「第五の力」

とは何だろうか。

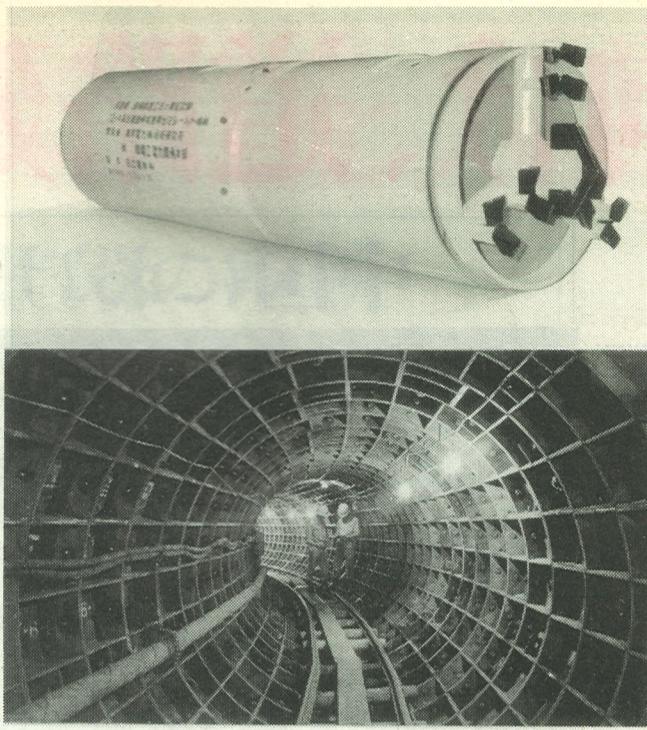
自然界にはこれまで四つの力が知られている。まず二つは「重力」。それから磁石が鉄を引きつける「電磁力」。あとは

ミクロの世界でだけ作用する「強い力」と「弱い力」だ。

ではこれら四つの力を統一的に説明する「統一理論」が大きなかつてある。しかし、「第五の力」は話題になった。M

Gのまとめによれば、現在数年前に言わされた。

理論上の「第五の力」は、



シールド機(上)と東京都の地下を走るトンネル

## ファジイ制御

人間の持つ曖昧さは、科学技術にとって好ましくないようを見る。しかし、曖昧なデータを適切に扱う人間の能力は、自動制御のできしない分野で熟練オペレーターを生んできた。ファジイ制御は最先端のコンピュータ技術を背景に熟練オペレーターの経験を習得しようとしている。

昨年七月、仙台市でファジイ制御を応用した地下鉄が開通した。運転手は発進時に始動ボタンを押すだけで、あと

の運転はファジイ制御の自動

運転装置が「上手」にやつてくれる。これは、日本で初めてのファジイ制御の本格的実用例である。

その後、ファジイ制御は、

いろいろな分野に応用されるよ

うになり、PID制御など従来の制御法では対応できなか

った分野の自動化にも成功し

た。我々が自動車を運転す

る場合、速度や車間距離を一

々正確に測定したりはしな

い。「速い」「遅い」という

「あいまいな量」に強いて

ファジイ制御の特徴は「大

き」「強弱」など数式化でき

ない主観的な量を用いて推

論・制御することにある。例

えば、我々が自動車を運転す

る場合、速度や車間距離を一

々正確に測定したりはしな

い。「速い」「遅い」という

「あいまいな量」に強いて

ファジイ制御の特徴は「大

き」「強弱」など数式化でき

ない主観的な量を用いて推

論・制御することにある。例

えば、我々が自動車を運転す

る場合、速度や車間距離を一

々正確に測定したりはしな

い。「速い」「遅い」という

「あいまいな量」に強いて

ファジイ制御の特徴は「大

き」「強弱」など数式化でき

ない主観的な量を用いて推

論・制御することにある。例

えば、我々が自動車を運転す

る場合、速度や車間距離を一

々正確に測定したりはしな

い。「速い」「遅い」という

「あいまいな量」に強いて

ファジイ制御の特徴は「大

き」「強弱」など数式化でき

ない主観的な量を用いて推

論・制御することにある。例

えば、我々が自動車を運転す

る場合、速度や車間距離を一

々正確に測定したりはしな

い。「速い」「遅い」という

「あいまいな量」に強いて

ファジイ制御の特徴は「大

き」「強弱」など数式化でき

ない主観的な量を用いて推

論・制御することにある。例

えば、我々が自動車を運転す

る場合、速度や車間距離を一

々正確に測定したりはしな

い。「速い」「遅い」という

「あいまいな量」に強いて

ファジイ制御の特徴は「大

き」「強弱」など数式化でき

ない主観的な量を用いて推

論・制御することにある。例

えば、我々が自動車を運転す

る場合、速度や車間距離を一

々正確に測定したりはしな

い。「速い」「遅い」という

「あいまいな量」に強いて

ファジイ制御の特徴は「大

き」「強弱」など数式化でき

ない主観的な量を用いて推

論・制御することにある。例

えば、我々が自動車を運転す

る場合、速度や車間距離を一

々正確に測定したりはしな

い。「速い」「遅い」という

「あいまいな量」に強いて

ファジイ制御の特徴は「大

き」「強弱」など数式化でき

ない主観的な量を用いて推

論・制御することにある。例

えば、我々が自動車を運転す

る場合、速度や車間距離を一

々正確に測定したりはしな

い。「速い」「遅い」という

「あいまいな量」に強いて

ファジイ制御の特徴は「大

き」「強弱」など数式化でき

ない主観的な量を用いて推

論・制御することにある。例

えば、我々が自動車を運転す

る場合、速度や車間距離を一

々正確に測定したりはしな

い。「速い」「遅い」という

「あいまいな量」に強いて

ファジイ制御の特徴は「大

き」「強弱」など数式化でき

ない主観的な量を用いて推

論・制御することにある。例

えば、我々が自動車を運転す

る場合、速度や車間距離を一

々正確に測定したりはしな

い。「速い」「遅い」という

「あいまいな量」に強いて

ファジイ制御の特徴は「大

き」「強弱」など数式化でき

ない主観的な量を用いて推

論・制御することにある。例

えば、我々が自動車を運転す

る場合、速度や車間距離を一

々正確に測定したりはしな

い。「速い」「遅い」という

「あいまいな量」に強いて

ファジイ制御の特徴は「大

き」「強弱」など数式化でき

ない主観的な量を用いて推

論・制御することにある。例

えば、我々が自動車を運転す

る場合、速度や車間距離を一

々正確に測定したりはしな

い。「速い」「遅い」という

「あいまいな量」に強いて

ファジイ制御の特徴は「大

き」「強弱」など数式化でき

ない主観的な量を用いて推

論・制御することにある。例

えば、我々が自動車を運転す

る場合、速度や車間距離を一

々正確に測定したりはしな

い。「速い」「遅い」という

「あいまいな量」に強いて

ファジイ制御の特徴は「大

き」「強弱」など数式化でき

ない主観的な量を用いて推

論・制御することにある。例

えば、我々が自動車を運転す

る場合、速度や車間距離を一

々正確に測定したりはしな

い。「速い」「遅い」という

「あいまいな量」に強いて

ファジイ制御の特徴は「大

き」「強弱」など数式化でき

ない主観的な量を用いて推

論・制御することにある。例

えば、我々が自動車を運転す

る場合、速度や車間距離を一

々正確に測定したりはしな

い。「速い」「遅い」という

「あいまいな量」に強いて

ファジイ制御の特徴は「大

き」「強弱」など数式化でき

ない主観的な量を用いて推

論・制御することにある。例



# 人を治め道を拓く シルクロードに生きた人

## □4□ 壮士の志 班超 地の果てに二十年

### 壮士の志

西暦前60年、前漢王朝は西域都護府を設け、西域諸国との管轄を始めた。以後、前漢と西域との友好関係はしばらく続いたが、やがて王莽が漢王朝を倒し、新を建国すると(西暦8年)、西域諸国はことごとく離反した。それに乗じて北方の匈奴が勢力をもり返し、西域を支配下においた。

二五年、光武帝劉秀により、新に代わって漢王朝が再興された。これを後漢と呼ぶ。しかし光武帝は、建国後の内政に力を注ぎ、外を顧る余裕がなかった。次の明帝(在位五十七~七五)の時代になって、ようやく西域に目が向かれ、そのようになつた。

この時代、西域にて絶大な功績を上げたことになる班超

は、もともと學問の香り高い

学者の家庭で生まれ育つた。

父の班固と妹の昭は、正史漢書の筆者である。このような環境にあって、ただひとり班超だけは、学者に向かず、むしろ武芸に優れた才能を秘めていた。

洛陽で、家計を助けるため

やむなく筆耕の仕事をしてい

たが、思いは常に西域を馳せていた。ある日のこと、思わず班超の口から嘆息がもれ

ていた。

班超は、さうに西の疏勒

(そろそ)に向かった。この

国では、龜茲(きじ)によ

て国王を殺され、それ代わ

て龜茲人の王に支配されて

いた。班超らがこの王を捕らえ、疏勒人の王を立てると、民は心からこれを受けた。

班超は、一方では望郷の念

に行き手を阻まれ、目的を達

して遭わしている。ローマと

の直接交易を図ったものであ

るが、途中安息の地で原住民

がむる。これを日本と韓國の開國神話で比較する。第三の開國神話もみていく。おそれ、國家形態は一度にできるものではなく、いくつかの段階を経て、次第に整備された国家になつていったと考えたのである。

このよくな考え方、韓國の新羅の神話にもみられる。

初めただに降ってきた始祖神

が、社会の発展に力を貸す君主を派遣する天神に求められた第一代新羅國王の開國神話がある。ついで、第四代昔

ノニギノミコトが日本を

千葉に降臨したといいう

が、神武天皇が日本から出発してしまった。この勝利により、翌年、龜茲、姑墨(こぼく)、温宿などは、もともと學問の香り高い学者の家庭で生まれ育つた。父の班固と妹の昭は、正史漢書の筆者である。このような環境にあって、ただひとり班超だけは、学者に向かず、むしろ武芸に優れた才能を秘めていた。

班超は、史記の続篇である後伝の著者として名高いし、兄の班固と妹の昭は、正史漢書の筆者である。このようないいとこが、自分たちを快く思っていないことを察しておられた。驚いた王闢王は、すぐさま漢に帰属した。

班超は、一計を案じて巫を斬り、その首を王闢王に差し出した。この巫が、自分たちを快く思っていないことを察しておられた。驚いた王闢王は、すぐさま漢に帰属した。

班超は、さうに西の疏勒

(そろそ)に向かった。この

国では、龜茲(きじ)によ

て国王を殺され、それ代わ

て龜茲人の王に支配されて

いた。班超らがこの王を捕らえ、疏勒人の王を立てると、民は心からこれを受けた。

班超は、一方では望郷の念

に行き手を阻まれ、目的を達

して遭わしている。ローマと

の直接交易を図ったものであ

るが、途中安息の地で原住民

がむる。これを日本と韓國の開國神話で比較する。第三の開國神話もみていく。おそれ、國家形態は一度にできるものではなく、いくつかの段階を経て、次第に整備された国家になつていったと考えたのである。

このよくな考え方、韓國の新羅の神話もある。

最初に天神が天から降臨

して、その使者を斬つた。使

者の首を大月氏の陣にさる

と、大月氏軍はあっさり降伏

してしまった。

その勝利により、翌年、龜

茲、姑墨(こぼく)、温宿など

は、もともと學問の香り高い

学者の家庭で生まれ育つた。

父の班固と妹の昭は、正史漢書の筆者である。このようないいとこが、自分たちを快く思っていないことを察しておられた。驚いた王闢王は、すぐさま漢に帰属した。

班超は、一計を案じて巫を

斬り、その首を王闢王に差し

出した。

班超は、さうに西の疏勒

(そろそ)に向かった。この

国では、龜茲(きじ)によ

て国王を殺され、それ代わ

て龜茲人の王に支配されて

いた。班超らがこの王を捕らえ、疏勒人の王を立てると、民は心からこれを受けた。

班超は、一方では望郷の念

に行き手を阻まれ、目的を達

して遭わしている。ローマと

の直接交易を図ったものであ

るが、途中安息の地で原住民

がむる。これを日本と韓國の開國神話で比較する。第三の開國神話もみていく。おそれ、國家形態は一度にできるものではなく、いくつかの段階を経て、次第に整備された国家になつていったと考えたのである。

このよくな考え方、韓國の新羅の神話もある。

最初に天神が天から降臨

して、その使者を斬つた。使

者の首を大月氏の陣にさる

と、大月氏軍はあっさり降伏

してしまった。

その勝利により、翌年、龜

茲、姑墨(こぼく)、温宿など

は、もともと學問の香り高い

学者の家庭で生まれ育つた。

父の班固と妹の昭は、正史漢書の筆者である。このようないいとこが、自分たちを快く思っていないことを察しておられた。驚いた王闢王は、すぐさま漢に帰属した。

班超は、一計を案じて巫を

斬り、その首を王闢王に差し

出した。

班超は、さうに西の疏勒

(そろそ)に向かった。この

国では、龜茲(きじ)によ

て国王を殺され、それ代わ

て龜茲人の王に支配されて

いた。班超らがこの王を捕らえ、疏勒人の王を立てると、民は心からこれを受けた。

班超は、一方では望郷の念

に行き手を阻まれ、目的を達

して遭わしている。ローマと

の直接交易を図ったものであ

るが、途中安息の地で原住民

がむる。これを日本と韓國の開國神話で比較する。第三の開國神話もみていく。おそれ、國家形態は一度にできるものではなく、いくつかの段階を経て、次第に整備された国家になつていったと考えたのである。

このよくな考え方、韓國の新羅の神話もある。

最初に天神が天から降臨

して、その使者を斬つた。使

者の首を大月氏の陣にさる

と、大月氏軍はあっさり降伏

してしまった。

その勝利により、翌年、龜

茲、姑墨(こぼく)、温宿など

は、もともと學問の香り高い

学者の家庭で生まれ育つた。

父の班固と妹の昭は、正史漢書の筆者である。このようないいとこが、自分たちを快く思っていないことを察しておられた。驚いた王闢王は、すぐさま漢に帰属した。

班超は、一計を案じて巫を

斬り、その首を王闢王に差し

出した。

班超は、さうに西の疏勒

(そろそ)に向かった。この

国では、龜茲(きじ)によ

て国王を殺され、それ代わ

て龜茲人の王に支配されて

いた。班超らがこの王を捕らえ、疏勒人の王を立てると、民は心からこれを受けた。

班超は、一方では望郷の念

に行き手を阻まれ、目的を達

して遭わしている。ローマと

の直接交易を図ったものであ

るが、途中安息の地で原住民

がむる。これを日本と韓國の開國神話で比較する。第三の開國神話もみていく。おそれ、國家形態は一度にできるものではなく、いくつかの段階を経て、次第に整備された国家になつていったと考えたのである。

このよくな考え方、韓國の新羅の神話もある。

最初に天神が天から降臨

して、その使者を斬つた。使

者の首を大月氏の陣にさる

と、大月氏軍はあっさり降伏

してしまった。

その勝利により、翌年、龜

茲、姑墨(こぼく)、温宿など

は、もともと學問の香り高い

学者の家庭で生まれ育つた。

父の班固と妹の昭は、正史漢書の筆者である。このようないいとこが、自分たちを快く思っていないことを察しておられた。驚いた王闢王は、すぐさま漢に帰属した。

班超は、一計を案じて巫を

斬り、その首を王闢王に差し

出した。

班超は、さうに西の疏勒

(そろそ)に向かった。この

国では、龜茲(きじ)によ

て国王を殺され、それ代わ

て龜茲人の王に支配されて

いた。班超らがこの王を捕らえ、疏勒人の王を立てると、民は心からこれを受けた。

班超は、一方では望郷の念

に行き手を阻まれ、目的を達

して遭わしている。ローマと